



2022年(令和4年)6月30日

発行: 東京都立大学 附属高等学校同窓会 〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-1-2 桜修館中等教育学校内 編集: 同窓会報編集委員会

10月23日(日)

# 同窓会の定期総会を開催します

日時: 10月23日(日)

受付 13時30分

開会 14時

懇親会 16時

会場: 桜修館中等教育学校

2階「多目的ホール」

(懇親会会場未定)

議事予定

一、三年間の活動報告

会報の発行

会員の名簿の管理

記念祭への取り組み

ホームカミングデー

八雲が丘賞

八雲が丘学友会

ホームページの管理

二、会計報告

会計決算報告

同窓会の財政状況

三、今後の活動方針

継続事業

新たな事業の展開

## 【この会報の内容です】

- 1 同窓会定期総会開催のお知らせ  
ホームカミングデーのお知らせ
- 2 第8回「八雲が丘賞」  
日本文化部長たる班が受賞
- 3 第9回「八雲が丘賞」  
軽音楽部が受賞
- 4 桜修館石崎校長先生からのメッセージ
- 4・5 第73回記念祭グラフ特集
- 6 沼津寮を拠点にしたフィールドワーク  
恩師 山崎 憲治先生
- 7 手作り絵本「ジャックとベティ」  
都立大附属高校の黒うさぎ物語  
恩師 町田 弘先生
- 8 講座・富士山の噴火について  
15期・藤井 敏嗣
- 9 アウトロー  
26期・うじきつよし
- 10 戦中戦後の母校  
1期・内野 滋雄
- 11 7期B組の活動  
7期・毛里 興三郎
- 12 米寿の寄せ書き  
2期・吉松 安弘
- 12期C組のクラス会  
12期・小倉 忠博
- 13 高校時代の思い出  
6期・片岡 俊郎  
文集「懐かしの一土会」  
頒布のお知らせ  
校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌  
収録DVD頒布
- 14 八雲立つ丘にて  
18期・山内 通生
- 15 事務局インフォメーション  
2021年度決算、事業報告
- 16 会費納入のお願い、訃報  
同窓会への連絡、編集後記

来る10月23日(日)に、昨年延期になった同窓会の定期総会を開催します。会員の皆さんから様々なご意見をいただいて、今後の同窓会活動に反映したいと考えています。多数の会員の方向へ出席をお待ちしています。今回は、総会終了後に懇親会を行います。ごちそうもぜひご出席ください。

### 桜修館同窓会との連携

四、その他  
会員の皆さんからの質問、問題提起、アイデアの提供など大いに歓迎します。

コロナ感染症が、治まっていなかった場合

5月末現在、コロナの感染者は減りつつありますが、このまま減って終息するかどうか予断を許しません。状況によっては、対面形式の会議は出来ない恐れがあります。その場合、2年続けて総会を中止・延期することは避けたいので、オンラインによるZoomミーティングをもって総会に代えます。この点に関して会員の皆さんのご理解を得たいと思います。

### 総会出席の申し込み

総会に出席される方は、同封のハガキに住所、氏名、卒業期、および懇親会出席の有無、をご記入いただき、Zoom会議になった場合の出欠も併せてご記入のうえ、10月1日までにご返送ください。切手は不要です。

### 今年の八雲が丘ホームカミングデー

ホームカミングデーは、一昨年および昨年と2年連続で開催できませんでした。従って今年の第6回「八雲が丘ホームカミングデー」は、第20期、21期、22期、45期、46期、47期が対象です。今年から桜修館卒業10年の期も加わり、合計7期の皆さんをお招きして、11月に開催予定です。

今年もコロナの状況によっても開催がむずかしいことも考えられます。開催の可否も含めて、開催日、開催会場などについて、対象の期の皆さんには、改めて個別に連絡を差し上げます。



1961年・木造校舎増築



1970年・記念祭のファイヤー



2006年・沼津寮が開寮に



2021年・記念祭テーマは恐竜

# 第8回「八雲が丘賞」 日本文化部かるた班が受賞



第8回「八雲が丘賞」は、最近目覚ましい活躍を見せている日本文化部かるた班に贈られました。

一昨年は春からコロナによる変則的校運営を余儀

なくされ、第8回「八雲が丘賞」も授賞が延期となっていました。昨年10月22日、遅まきながら表彰式が行われました。この日も例年のような全校生徒の前で

表彰することはかなわず、校内放送で表彰状を読み上げ、部の代表に表彰状と記念品代を贈りました。

## 一丸となって 競技力の向上を

競技かるた部のある中学高校は近年急速に増えており、全国高等学校小倉百人一首選手権大会の予選参加校は、昨年全国で254校、東京でも40校近くに上りました。漫画・映画の「ちはやふる」の影響が大きいとも言われています。

そんな中で、桜修館は常に東京都予選の上位校の位置を維持しています。東京では全国優勝13回の男子校・暁星高校が抜けた存在ですが、女子中心の桜修館は大健闘していると言えます。「先輩方の功績や先輩方とのつながりが部活動の誇り」という部員の言葉に、かるた部の部活の本質が見えるようです。

## 八雲が丘賞

東京都立桜修館中等教育学校  
日本文化部かるた班の皆さん

近年の日本文化部かるた班の躍進には目覚ましいものがあります。全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会の東京予選では上位入賞の常連校、今年も4位の成績を取めました。また高等学校総合文化祭かるた部門の実行委員として多数の部員が活動し東京代表チームにも参加しています。

こうした実績は、優れた指導のもと部員同士の切磋琢磨の中から競技力を養ってきた賜物です。充実した部活動に敬意を表し、ここに第8回「八雲が丘賞」を贈ります。

2021年10月22日

東京都立大学附属高等学校同窓会  
理事長 宍戸 迪武

## 桜修館と 都大附高を結ぶ絆

この「八雲が丘賞」は、桜修館と都大附高を結ぶ絆の一つです。昨年10月の表彰式の後、部員全員と顧問の先生から同窓会あてに届いたお礼状を眺めれば、「八雲が丘賞」という賞があって本当に良かったと実感できます。今後この賞が生徒諸君に喜んでもらえる賞となり、一方で桜修館の今を知る手がかりになれば、と考えています。





# 第9回「八雲が丘賞」 軽音楽部が受賞

第9回「八雲が丘賞」は軽音楽部が受賞となりました。表彰式は、第8回受賞の日本文化部からた班と同様、昨年10月22日に、放送



室で表彰状を読み上げ全校に放送する形で行われました。コロナの影響が、私たちの日常にあらゆる形で及んでいることを実感します。

放送が終わった後、受賞した軽音楽部の部員が放送室近くのコンコースに集合し、記念写真を撮ることができたのは幸いでした。

## 八雲が丘にある 軽音楽の系譜

表彰状にもあるように、軽音楽部のライプは、記念祭などで大変に人気があります。その人気の秘密は技術的なレベルの高さに加えて、各バンド・メンバーの内からあふれ出る個性にあるのではないのでしょうか。オーケストラなどでは、いかにして全体が一つになれるのかが問われるのに対して、「軽音楽」の魅力はいかに個性的か、だからです。

八雲が丘には「軽音楽」の系譜があります。1970年代には、うじきつよし氏、向谷実氏、北島健二氏、織田哲郎氏などが八雲が丘で、後の活躍につながるエネルギーを蓄えていました。確

かにこの丘には軽音楽という幅広いジャンルにふさわしい何かがあるようです。

## 今年の第10回の賞は どのような活動に

「八雲が丘賞」は、今年第10回を数えます。これまでの受賞は、日本文化部茶道班、フィールドワーク部、写真部、美術部、科学部、創作部、前期サッカー部、(奨励賞)前期女子バスケットボール部、日本文化部からた班です。来年はどのような活動が受賞するのか、今から楽しみです。

## 八雲が丘賞

東京都立桜修館中等教育学校  
軽音楽部のみなさん

新型コロナ禍の難しい状況になる前、記念祭で軽音楽部の出演時間にサブアリーナを覗いてみれば明らかでした。そこには多くの聴衆、ファンがいて音楽を通じてステージ上との密な交流がありました。各バンドが繰り出す練習の成果は、桜修館の音楽的水準の高さを示すものでもあります。軽音楽部の皆さんの、軽くない努力に敬意を表し、今後も聴く人の心に響く多彩な表現と技術を磨くことに期待を込め、ここに第9回「八雲が丘賞」を贈ります。

2021年10月22日

東京都立大学附属高等学校同窓会  
理事長 宍戸 迪武

### 「八雲が丘賞」規定

- (趣旨)**  
この賞は、東京都立桜修館中等教育学校の生徒による優れた部活動、課外活動に対して、東京都立大学附属高等学校同窓会から贈られるものです。
- (賞と対象期間)**  
賞の対象期間は、4月から次年3月までの1年間とし、「優秀賞」および「奨励賞」の二つを設定します。2年以上にわたって顕著な実績を上げた活動に対して「大賞」を贈ることがあります。賞は、記念品または同等金額の活動費支援とします。
- (基準)**  
選考基準は以下によります。  
①年間を通じて継続的に活動を展開し、十分な実績を上げたもの  
②前年度に比して活動の内容に顕著な向上が見られたもの  
③対外試合、コンクールなどで優秀な成績を上げたもの  
④その他桜修館生徒にふさわしい優れた活動を行ったもの
- (選考)**  
対象となる活動について桜修館中等教育学校の推薦をうけ、都大附高同窓会理事会において決定します。
- (賞の贈呈)**  
前年度の受賞活動に対し、原則として次年度記念祭の期間中に表彰し、賞の贈呈を行います。



コロナ禍をこえて

# 第73回 記念祭 グラフ特集

第73回記念祭の  
テーマは「恐竜」。

入場ゲートをはじめ校内各所に、  
装飾班や体夜班の力が  
展示されました。

日頃より都立桜修館中等  
教育学校の教育活動にご理  
解とご協力を賜り、厚く御  
礼申し上げます。  
新型コロナウイルス感染  
症の影響も3年目を迎える

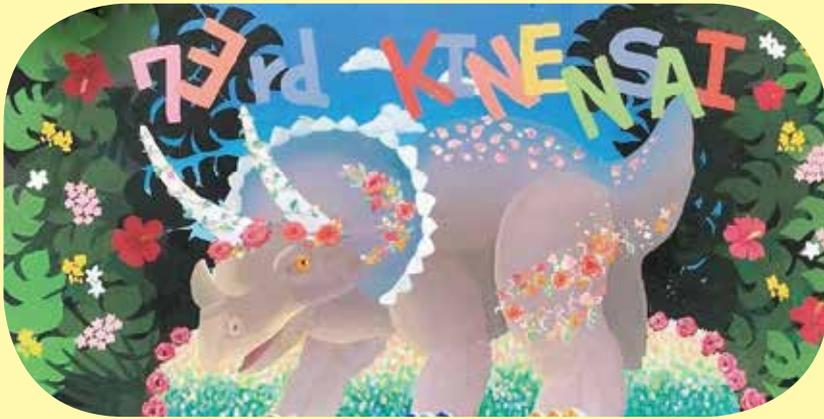


## 最大限の 教育機会を提供

都立桜修館中等教育学校長 石崎 規生

中、本校では東京都の感染  
予防ガイドライン等を守り  
つつできる限りの最大限の  
教育機会を提供することの方  
針で、教育活動を継続して  
参りました。

生徒が主体となって運営  
する、クラスマッチ、記念  
祭、合唱コンクールでは、  
「今だからこぞとびきりのこと」  
を合言葉に、実施形態の工  
夫や動画中継など、生徒の



新型コロナウイルス感染症は、学校  
運営にも同窓会活動にも大き  
な影響を及ぼしました。記念  
祭も例外ではありません。新  
製の都立大学附属高校発足以  
来続いてきた記念祭ですが、  
一昨年の第72回は初めて中止  
に追い込まれました。

昨年の第73回はコロナの影  
響下、感染予防策を講じなが  
ら、学校や生徒たちの様々な  
工夫で何とか開催することが  
できました。例年行われてい  
た学校説明会など外部からの  
招待、同窓会ルームやPTA  
の模擬店の出展などは出来ま  
せんでしたが、現役生徒は2  
学年ごとに半日ずつの参加、  
映像の配信など新しい試みで  
2年ぶりの記念祭を盛り上げ  
ました。

今年の第74回記念祭が、出  
来るだけ通常通り無事開催で  
きることを祈りつつ、昨年の  
記念祭の様子をグラフ特集に  
してお届けします。

(この特集には、桜修館PTA  
広報委員会から写真を  
ご提供いただきました)



2年生は、日本語劇「かがみの孤城」、英語劇「Harry Potter」、  
数学班「#でよ♡桜数館」、理科実験班「ノーベルに挑んでみた」、  
ダンス「3DS Dance Dance Dance」



1年生は4クラスとも恐竜を展示。  
A「海の恐竜」、B「恐竜博物館・八雲本館」、  
C「草食恐竜で草」、D「古の空の獣」

新たなアイデアや様々な工夫を取り入れ、例年どおりのことができない代わりに、すべてを一から考える中でこれまでとは違った意味での充実感が得られる行事となりました。

シンガポール海外修学旅行をはじめとする海外での体験的行事は実施が叶いませんでしたが、この4月に6年生は長崎・福岡への修学旅行を無事実施し、1、4年生もそれぞれ高尾、房総での宿泊行事を行うことができました。また、昨夏開催された東京パラリンピックでは、4、5、6年生がそれぞれ一日ずつ国立代々木競技場で車いすラグビーを観戦し、異文化や国際社会への関心を高め、ダイバーシティへの理解を深めました。

さて、今春の卒業生の進路状況ですが、難関国立大学は、京都大学1名、東京工業大学7名、一橋大学4名、国立大学医学部医学科2名が合格し、合格者の合計は昨年度を上回りましたが、東京大学の合格者は0名でした。難関私立大

学は、早稲田大学38名、慶應義塾大学21名、上智大学12名が合格し、GMARCHには、131名が合格しました。(いずれも現役生のみ)

また、今春の本校への志願状況ですが、都立中高一貫教育校全体として志願倍率が低下し、本校は、5・17倍(男子4・18倍、女子6・16倍)でした。新型コロナウイルス感染症等による特例による検査の合格者2名を加えた162名が4月に入学しました。

今年度の高校一年生から、新学習指導要領が年次進行で実施されます。思考力、判断力、表現力等に加えて、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間力等」を、一層充実させながら、引き続きコロナ禍においても様々な困難を乗り越けていきたいと思えます。同窓会の皆様も引き続き本校への御理解と御支援をお願いいたします。末筆になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



4年生の参加型バラエティ展示。  
A 「実平の園～私を祭りに連れてって」、  
B 「CASINO SAURUS」、  
C 「謎解きはワッフルのまえて」、  
D 「有縁之日」。



3年生は演劇。  
A 「アスノゾラ 唱戒班」、  
B 「ごくせん」、  
C 「大洗にも星はふるなり」、  
D 「赤ずきん」。  
それぞれ音響、衣装、映像にこだわって。



6年生は演劇三昧。  
A 「クロノス・ジョウンターの伝説」、  
B 「ルパン三世～美術館の秘宝と首飾り」、  
C 「泥棒役者」、D 「明烏一あけからす」



5年生は遊び心満載。  
A 「やまちゃんのぼあむ食わへん?」、  
B 「CASINO Bliss vegas」、  
C 「アリマのメイドはアリマせん」、  
D 「SILENT EGG 一音を立てたらぱくり」



いつもなら校内案内に忙しいフィールドワーク部、科学部、M研、図書委員会、4年英語係、ユニークな展示や実験を。さらに自治会も参加。



文化部は部活の成果を存分に発揮。吹奏楽部と軽音楽部はいつものように名演奏で、美術部「絵美展」、創作部「こってこ展」、写真部は魅せるアートで。

# 沼津寮を拠点にしたフィールドワーク

山崎憲治(地理) 1987〜2002在職

私が、附属高校で教員を務めていた時、3つのミッションを実現することに努めた。一つは、中高一貫教育、二は高大連携の実現、三は地域での生涯学習の確立である。これらのミッションを進めるには、実験実習を重視し現場・現実から学ぶという学習を軸に展開することが肝心と考えていた。

私が、附属高校で教員を務めていた時、3つのミッションを実現することに努めた。一つは、中高一貫教育、二は高大連携の実現、三は地域での生涯学習の確立である。これらのミッションを進めるには、実験実習を重視し現場・現実から学ぶという学習を軸に展開することが肝心と考えていた。

沼津寮でのホームルームに副担任として参加した。当時は寮の改築のため父母会が出資金を集めており、生徒が寮を活用する機会を創らねばならないというある種のノルマという面もあった。確かに秋の記念祭に向けたクラス討論も必要なのだが、討論を盛り上げるという状況を作ることはできなかった。一方でこの施設この環境を教材として「現地に学ぶ」というフィールドワークを実施出来ないかと考えると、附属の地理学

習の特色につなぐ可能性を追求できると確信するようになった。そこには、多くの現地実習で学べる題材があった。

一日目はこんな課題を用意できた。箱根火山、十国峠、丹那断層、田代盆地での土地利用調査、農家訪問と農業経営の聞き取り調査、そして丹那牛乳工場見学。これだけでも盛りだくさん過ぎる現地実習になる。生まれて初めて断層の現場をみて、本当に大地が動くことを実感できた生徒も少なくない。しかもその方向が、フィリピン海プレートとの日本列島へ沈み込んでいく動きだと聞くと、日本列島がどういう構造で生まれ変化しているかという大きなスケールの話が、小さな盆地の左横ずれ断層から垣間見るといって面白さを発見できた生徒も多いと思う。教科書ではなく現地のフィールドから学ぶ可能性

を知ることもあった。私が生徒を引率しての十年間でも、田代盆地の農家は大きく変化した。野菜くずで育てていた数頭酪農(牛)の排泄物を堆肥にする規模の小さい循環を実現する経営(が)消えて、多頭飼育、巨額の投資に見合う少数の酪農家が生まれていく過程であった。もっとも、田代盆地の生徒による土地利用調査は、盆地の入口に立てば生徒の行動が全て確認できるという手ごころな規模のフィールドだった。夜は12時過ぎまで、フィールドノートをとめる生徒が多く、(ときには)仲間のノートをそのまま写すのが精一杯という場合もあったが、消灯・就寝時間を大幅に超えてしまう例もあった。

二日目は朝6時に起床。沼津の魚市場のセリを見学することになる。その日の水揚げがあるか、ないかです。まったく違った学習になる。水槽一杯のゴマさばの値段が、タルに入れた十数尾のマサバの価格とほぼ同じであったり、小ぶりのさばに買い手がつかず仲買が往生する姿、そして買い手がついた瞬間、安堵感が伝わる雰囲気は忘れられない(小型のさばは肥料に回るが、魚体が大きくなると油が多くなり、油抜き行程を何度かくぐらせねばならず、肥料会社の出費になる。一方で、沼津港に揚げたサカナに買い手がつかないとすると、他の港に水揚げする船が多くなる結果、沼津市場の支配力が弱まってしまふ)。現場でのやり取りの姿から、学べることは多かった。

その後は、千本松原。浜堤が生まれる過程、海岸に広がる礫からこれらがどこから流れ着いたか、沿岸流の流れる方向を浮遊物から推測することも面白い調査になった。茶農家を訪問し、生葉の刈り取り、荒茶から製茶つくりまでを学ぶことが出来た。

最後は柿田川。どうして国道一号線の脇から、きれいな湧水が大量に噴出するのか。富士山という山の裾野にある、その火山が生んだ帯水層を通しての水。多くの生徒が各家庭へのお土産として水を汲んで帰ることになる。

現地実習で学べる題材があった。一日目はこんな課題を用意できた。箱根火山、十国峠、丹那断層、田代盆地での土地利用調査、農家訪問と農業経営の聞き取り調査、そして丹那牛乳工場見学。これだけでも盛りだくさん過ぎる現地実習になる。生まれて初めて断層の現場をみて、本当に大地が動くことを実感できた生徒も少なくない。しかもその方向が、フィリピン海プレートとの日本列島へ沈み込んでいく動きだと聞くと、日本列島がどういう構造で生まれ変化しているかという大きなスケールの話が、小さな盆地の左横ずれ断層から垣間見るといって面白さを発見できた生徒も多いと思う。教科書ではなく現地のフィールドから学ぶ可能性

を知ることもあった。私が生徒を引率しての十年間でも、田代盆地の農家は大きく変化した。野菜くずで育てていた数頭酪農(牛)の排泄物を堆肥にする規模の小さい循環を実現する経営(が)消えて、多頭飼育、巨額の投資に見合う少数の酪農家が生まれていく過程であった。もっとも、田代盆地の生徒による土地利用調査は、盆地の入口に立てば生徒の行動が全て確認できるという手ごころな規模のフィールドだった。夜は12時過ぎまで、フィールドノートをとめる生徒が多く、(ときには)仲間のノートをそのまま写すのが精一杯という場合もあったが、消灯・就寝時間を大幅に超えてしまう例もあった。

二日目は朝6時に起床。沼津の魚市場のセリを見学することになる。その日の水揚げがあるか、ないかです。まったく違った学習になる。水槽一杯のゴマさばの値段が、タルに入れた十数尾のマサバの価格とほぼ同じであったり、小ぶりのさばに買い手がつかず仲買が往生する姿、そして買い手がついた瞬間、安堵感が伝わる雰囲気は忘れられない(小型のさばは肥料に回るが、魚体が大きくなると油が多くなり、油抜き行程を何度かくぐらせねばならず、肥料会社の出費になる。一方で、沼津港に揚げたサカナに買い手がつかないとすると、他の港に水揚げする船が多くなる結果、沼津市場の支配力が弱まってしまふ)。現場でのやり取りの姿から、学べることは多かった。

その後は、千本松原。浜堤が生まれる過程、海岸に広がる礫からこれらがどこから流れ着いたか、沿岸流の流れる方向を浮遊物から推測することも面白い調査になった。茶農家を訪問し、生葉の刈り取り、荒茶から製茶つくりまでを学ぶことが出来た。

最後は柿田川。どうして国道一号線の脇から、きれいな湧水が大量に噴出するのか。富士山という山の裾野にある、その火山が生んだ帯水層を通しての水。多くの生徒が各家庭へのお土産として水を汲んで帰ることになる。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

現場でのやり取りの姿から、学べることは多かった。その後は、千本松原。浜堤が生まれる過程、海岸に広がる礫からこれらがどこから流れ着いたか、沿岸流の流れる方向を浮遊物から推測することも面白い調査になった。茶農家を訪問し、生葉の刈り取り、荒茶から製茶つくりまでを学ぶことが出来た。

最後は柿田川。どうして国道一号線の脇から、きれいな湧水が大量に噴出するのか。富士山という山の裾野にある、その火山が生んだ帯水層を通しての水。多くの生徒が各家庭へのお土産として水を汲んで帰ることになる。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

現場でのやり取りの姿から、学べることは多かった。その後は、千本松原。浜堤が生まれる過程、海岸に広がる礫からこれらがどこから流れ着いたか、沿岸流の流れる方向を浮遊物から推測することも面白い調査になった。茶農家を訪問し、生葉の刈り取り、荒茶から製茶つくりまでを学ぶことが出来た。

最後は柿田川。どうして国道一号線の脇から、きれいな湧水が大量に噴出するのか。富士山という山の裾野にある、その火山が生んだ帯水層を通しての水。多くの生徒が各家庭へのお土産として水を汲んで帰ることになる。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

沼津寮も消えた今、沼津で実習を語ることは夢の「跡」を追うことなのだろう。しかし、フィールドワークが持つ意義や可能性が消えるわけではない。どこでも教室に出来る・実現することで生きた学習がつけられるし、それを生徒も教師も探る中に学習の喜びはあるに違いない。

懐かし  
の師より  
恩

# 手作り絵本「ジャックとベティー」 都立大附属高等学校の黒うさぎ物語

町田 弘(化学) 1985〜1997在職



この物語は今から約30年前、地学の進藤綾子先生が近所の人から黒いうさぎを譲り受け、しばらくの間学校の敷地内で飼っていた時の話を題材に絵本を作りました。

うさぎの名前はジャック。上半身は白で下半身は黒、しっぽは三角をしていました。顔は愛嬌があり可愛かったです。好奇心がとても旺盛で、追いかけると倉庫の下や外構の中に潜り込んでしまい、捕まえるのが大変でした。中庭にあった古い冷蔵庫を小屋にして

ジャックを飼おうと用意しましたが、ジャックが自分で扉を開けて何度も逃走してしまうので、行動が自由に出来るようにと中庭で放し飼いをすることにしました。

初めのうちは人に対して警戒心があり噛みつくこともありました。そのうち慣れてくると徐々に近寄ってきて、先生方や生徒たちからも可愛がられていました。

朝は生徒からエサをもらい、ニンジンやキャベツも手からでも食べられるよう



ジャック

になりました。登校してくる生徒や先生達を見つけては後ろをついて行き、そのまま校舎内へ入ってしまいうるようになります。授業中は入ってこないようにドアを全部閉めていましたが、中に入りたいたいジャックはドアの前でウロウロしたり覗き込んだりと、その姿が可愛かったです。放課後は陸上部員の走る後ろをついて行ったり追い越したり、まるで人間の子供のようにとても楽しんでいっているように見えました。

ジャックの姿が2、3日



進藤先生と相馬先生



ジャックとベティー表紙

見えないと「車に引かれたのではないか?」とか「カラスに襲われたのではないか?」と心配になります。しかしそのような時にジャックがひょっこり現れると皆の顔が自然となごみ、楽しい時間が戻りました。そしてジャックを飼いはじめ、うさぎのベティーも迎え入れることになりました。それから仲の良い2匹を守り、希望を込めて物語は終わりになります。

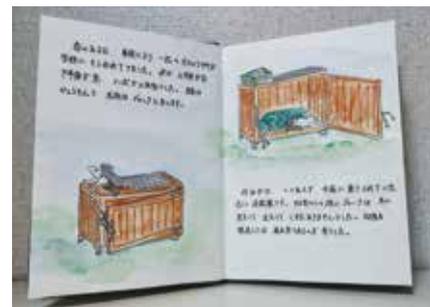


金田先生

ある日突然、うさぎを飼うことになりましたが、進藤先生をはじめ金田友行先生(国語)や相馬璃英子先生(保健)、他先生方、生物部員の生徒達や警備員さんまで、本当に皆に可愛がられて楽しい時間を過ごすことができました。今まで校内で動物を飼育することがなかったのが、最初は戸惑いや不安もありましたが、皆で協力しあえたことも良い経験だったと思います。



進藤先生とジャックとベティー



# 富士山の噴火について

藤井敏嗣・15期

現在、山梨県富士山科学研究所に非常勤の所長として勤務しています。そのこともあって、最近では富士山の火山防災に関わることが多くなりました。同期の佐々木浩二氏からの勧めもあり、富士山の火山噴火について述べたいと思います。

## 富士山は噴火するか？

高名な物理学者で随筆家でもあった寺田寅彦は、「富士山は（今後いつまた活動を始めるか、それとももう永久に休息するか、神様にもわかるまい。しかし、16世紀にも18世紀にも活動したものが20世紀の千九百何十年かにまた活動を始めた」と保証しうる学者もいないであろう」と述べています。20世紀には噴火しなかったけれど、2000年から2001年にかけて地下のマグマの動きに関連する深部低周波地震が活発化し、永久に休息するようなどことはないことが示されました。

5600年前までさかのぼると、富士山は少なくとも180回噴火していたことが分かっています。つまり、30年間に1回のペースで噴火していたのが富士山の火山としての姿です。ところが、1707年の宝永噴火以降300年以上噴火していませんから、平均の10倍の期間噴火を休止していることとなります。これはどう考えても異常なので、富士山はいつ噴火してもおかしくないと考えられています。

## 富士山噴火の特徴

富士山は噴火のデパートと言われるほど、過去には多様な噴火を行ってきました。そのうち、溶岩流、砲弾のように飛んでくる大きな噴石、火砕流などの現象は火山の周辺にのみ被害が限定されますが、3000年前と同じような規模の爆発的噴火を起こした場合、首都圏は大変な状況に陥るこ

とになります。

噴煙は2万メートルくらいまで立ち上りますから、上空のジェット気流に乗って首都圏方向に運ばれ、途中で火山礫や火山灰を降り積もらせることとなります。山麓では数m、静岡県東部、神奈川県は10cm以上の火山灰、礫が堆積します。都内でも数cm、千葉県でも数cm、数m程度は積もるでしょう。3000年前の噴火では16日間続きましたが、数日間と同様のことが起こらないとも限りません。

## 噴火災害の様相

このように起こると首都圏の交通はマヒし、流通経路は一時破綻し、日本経済の低落をもたらすことになるでしょう。レールの上に火山灰が0.5m厚の積もると、安全確保のために電車は止めざるを得ません。このような状況が、富士山から千葉に至る広い領域で噴火開始後3時間で起こるのです。そ



の後も火山灰は降り続けるのですから、そのうち自動車も道路を走れなくなります。もちろん、噴火継続中は飛行機の離着や飛行は不可能です。碍子に3m程度の湿った火山灰が付着すると、台風時の塩害と同じ

いとは保証できません。むしろ、300年以上休止している、地下には十分な量のマグマが蓄えられていると考えられる、3000年前のような爆発的で大規模な噴火になる可能性は小さくないと考えるべきでしょう。そのために、できることはいまから準備しておく必要があります。

## 噴火の予知について

時折、富士山噴火は20XX年というような記事が週刊誌やタブロイド紙をにぎわすことがあります。しかし、現在の科学技術ではこのような中・長期の予知は不可能です。このような発言があったら、肩書がいかに立派でも眉唾だと思ってください。

また、富士山の観測は充実しているから1か月前には噴火が予知できるという専門家もいますが、これも正しくはありません。富士山と同じようなマグマが活動する世界の噴火例からしても、噴火の前兆が現れるのはせいぜい1週間前、数日や数時間前というほうが圧倒的に多いのです。

厄介なのは、噴火が始まるまでどのような規模の噴火になるのか、また溶岩流を出すような噴火なのか、爆発的な噴火になるのかさえ分からないことです。さらに、首都圏に火山灰が届くような大きな噴火になるかどうかは、噴火開始後30分以上経過しないと判定できません。

このように、分からないことが多いのですが、将来噴火することだけは確実なので、今から万々に備えた準備が必要です。国や自治体のレベルでは対策の検討が始まりましたが、個人レベルでは、交通システムの復旧を待つ間の水や食料の備蓄が必要です。

東日本大震災の際に、津波で通行不可能になった東北日本の道路の警戒に当たった国交省東北地方整備局の「備えたことしか役に立たなかった。備えたことは十分ではなかった」という言葉を噛みしめて、いつか起こる災害に備えることが火山大国と言われる日本に住む我々にとって必要なことだと思います。

寄稿

アウトロー

うじきつよし(氏木毅)・26期



現在

えっ?! オレなの?!

通学はしてたけど、三年間、ぜんぜん学んでない! 特に後半は学校にいるより、近くの喫茶『アイリス』とか雀荘にシケ込んでた方が長いかも。

ね、もう書き出しからぜんぜんダメでしょ?

入学したのは1973年。当時は学校群制度で、行き先は勝手に振分けられ選べない。目黒、広尾、都立大附属の中で「なんか名前が一番カッコいいじゃん」と、ロクな予備知識もなくノコノコやって来た入学式。

柿の木坂を登って大学の門から入るや否や、まず目

に飛び込んだのは至る所に乱立する、ペンキで荒々しく書き殴られた、やたらカクカクした漢字だらけの看板群。『造反有理』ってなん

だっけ? おおっ、これが所謂『タテカン』ってヤツか! こりゃまるで、ニュースで見たあの『安田講堂』の世界! 事の詳細は分からずとも、小5ながらシンパシーを感じていた1969年の衝撃が甦る。

「すげえぞ、ココは!」ちょっとビビりつつ大学キャンパスを進むと、どうも高校のエリアに入ったらしく、式典を待つ新入生たちがポツポツ見えてきた。その間を、ヘルメットにサングラス、タオルで顔隠した先輩(多分)がすり抜けて行く。半べんて親にすりつく女子は「なんで広尾目黒じゃなかったの!」と

訴えていたんだろう。

大学と共通の講堂で行われた入学式は、先輩たちのヤジが飛び交い、終いに壇上の校長にトイレットペーパーが飛び交い、式辞もそこそこ、校長はそそくさと退場した。

ピークは過ぎたとはいえず学園紛争の爪痕が残る『自由と自治』のキャンパス。「新入生諸君! オリエン



大友光悦氏と

テーションを始めます!」えっ? 今、授業中なんだけど。突然登場した先輩が、授業を中断、『主体的自治の危機』を滔々と熱弁する。かたや軟派な先輩たちは、『ポパイ』『MCシスター』ばりのIVルックでキメて登校してくる。ロン

毛ロンドンブーツのグラムロックまでいる!

昼休み、どこからか響いてくるエレキギターの音に引き寄せられていくと、グラウンド横に張り付いた、ちっこい円形の『自治会館』にたどり着いた。まだエレキは不良の時代。放射線状にぐるりと、小汚い部活の部室が並んでいる。エレキは『新聞部』の扉の中で

鳴っていた。恐る恐る覗くと、「おう、入れよ」とロン毛強面なわりには、やけにフランクな声の主が迎え入れてくれた。埃まみれのドラムやアンプ、ガリ版刷り機、床に転がったヘルメット、書きかけのタテカン、壁に『ジャズ研』の殴り書き。さすが授業中はまじい

が、それ以外は音出し問題なし。最初はおっかなびっくり、程なくして入り浸るようになる。

入学の興奮・混乱が収まらぬまま『クラスマッチ』の運営準備と練習が、こ

な盛り上がりでエライ楽しかった。その余韻で通常の登校パターンも定まらぬまま夏休みに突入。休みが明けると、もはや秋の『記念祭』モードに切り替わって



高校時代

いった。『ジャズ研』で教室を一つ丸々使い、三日間演奏するという。「お前も前座で出してやる」と出番が回って来た。「お前らのバンド名は一年ボーイズな」と言われ、そいつはあんまりだ、考えて来ますと食い下がり、つけた名前が『子供ばんど』だった。

記念祭のクライマックス、最終日のファイアーに火が入った。「あ、あ、インターナショナル」とか「吹きすさぶく耐えて行く祖国の土とく」とか、古臭い歌だなど思ってたのが、クラスメイト、先輩と肩を組み、闇に燃え上がるファイアーに照らされ、シユプレヒコールを繰り返すうち、えも言われぬ高揚感に包まれた。

怒涛の記念祭を体験し、IPPASHIの『反体制ロッカー』気取りで、学年を終える頃には、勉学の方はより一層あさってになり、音楽に夢中になっていった。翌二年になった学園祭シーズンには、同学区の青山や千歳高校のステージにも潜り込んだ。

ただそれでも、人並みの高校生活もちゃっかりと、人数合わせでバレー部に在籍、修学旅行もちゃんと行ったし、『旭べ』のフルーツパンも大好物だった。

クラスメイトの代返に助けられ、なんとか欠時をクリアして卒業。その後も続けたバンドで、なんとかラッキーにデビューするこ

とができた。都高の三年じゃなかったら、とっくに完全ドロップしてました。『体制を疑え』まさか半世紀もたった今、再びこのDNAがこれほど必要になって来るとは。『自由と自治』のバトンの引き継ぎ。やり逃げはできないっすね。

# 戦中戦後の母校

内野滋雄・1期

私が当時最難関といわれた七年制府立高等学校尋常化科に入学したのは昭和19年でした。「写真1」のような立派な学校で、周囲は森・林・畑、住宅は木造建てでした。戦時中であっても学校には自由でアカデミックな校風がありました。教練の時小出大佐(コタイ)は運動場に軍刀を忘れたり、軍国主義であっても自由と自治の精神はありました。当



①

時の佐々木順三校長は、昭和19年7月にサイパン島全滅後の朝礼で「日本は負ける。これから激変がくるだろうが諸君は惑わされず真理の探求のため学問に励め。学問は自由な発想で自由に言うことができる」と訓話されました。

昭和20年3月と5月に東京大空襲、疎開、8月に敗戦、9月から学校は再開されましたが、東京は食べる物もないため私は休学し、21年4月に復学しました。クラスも休学生が多く二学年合併での授業。皆腹を空かせていました。しかしアルバイト等で猛烈なエネルギーが噴出し、音楽熱演劇熱等が記念祭時以外にも吹き出しました。テニス部主催でのレオニード・クロイツァ



②

のピアノリサイタル(写真2)、同窓会主催で「ベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全曲連続演奏会」が巖本真理・野辺地瓜丸で3回、音楽部は日比谷公会堂で日響(N響の前身)特別演奏会を開催しております。その他文化研究会を約1か月間、他校生徒・一般市民など多数の聴講生に大好評でした。



④

また演劇活動が盛んで、「シラノ・ド・ベルジュラック」、「ドン・カルロス」(尋常科劇)、「アルルの女」、「地平の彼方」(尋常科劇)等々

が記念祭で上演されております。「写真3」しかし女性の出演はなく、劇中の女性は都立(注)の男性でした。尋常科では自由になった時代におかしい、女性を探そうと女子高と交渉。桜町高女の演劇部の先生が「都立なら大丈夫だろう」と3名の演劇部の女性を紹介してくれました。



③



⑤

昭和24年4月1日都立大学が設置され、その年の12月20日、都立の校名は東京都立大学附属高等学校と改称されました。グラウンド、体育館、図書館などは大学管理下で共用となり、やがて高校は木造の校舎に移転となりました。多くは都立大学のものを使わせてもらうだけとなり、附属高校生

「写真4」の女性3名が「地平の彼方」の出演者です。高等科の人達が羨み、貸してくれとせがまれました。次の「写真5」はそろそろ卒業も近くなった頃、学校出入りの写真屋さん撮影したものです。場所はプールからテニスコートに移るところです。今はありません。



⑥

(注)旧制時代の最後の正式校名が「都立高等学校」だったことから、新制の附属高校になってからも生徒は母校を「都立」と称した。

は今までの自分たちのものを新大でとられたという感覚となり、不満に耐えられない者は「都立高校附属大学」などといい、新入の都立大学生とのトラブルが起り、鉄拳をみるにいたりました。そうこうしているうち、大学は八王子・南大沢に移り、我々にとって懐かしい正門の一部と八雲が丘記念碑「燦燦」が残るにとどまりました。「写真6」サンサン」の小さなものは桜修館の東側にも残っております。

寄稿

7期B組の活動

毛里興三郎・7期

私たち7期B組は2、3年の時に同じクラスで過ごした仲間です。集まって何かするのが好きで、弁当を食べるときはよくプールの見える草原で集まって食べました。昼休みには男子だけでしたが、ソフトボールをやって遊んでいました。

そういう傾向はクラスの中のクラスノートにも表れていました。誰かが何か書きたいことがあると書き、それを次の誰かに渡して、また別のことを書く。誰かが書いたことに野次を書き込むことがあったり、同意したり反論したり様々でした。これは卒業後もしばらく続き全部で28号(冊)まで行った記録がありますが、実際はどうだったのか誰も知りません。せっかくの作品が散逸してしまい、誰が持っているのかわからなくなってしまうからです。クラスノートの他に文集も作りました。一冊は在学中

に作り、もう一冊は卒業後数年して作りました。草原で一緒に歌うため歌集も作りました。

集まるのが好きでしたから、卒業後もコンパと称して日曜日の午後元教室に集まりました。どのくらいの頻度だったかは忘れましたが、男女ともに集まりおしゃべりをするのが楽しかったです。ソフトボールに出て男子はソフトボールをして遊びました。たまにハイキングにも行きました。一年で春秋二回行ったように記憶しています。こうやって集まって遊ぶのが好きなクラスでしたが、卒業後3年、4年とたつと流石にそれぞれ今自分がある場の方で忙しくなってきました。いつか集まりも途絶えてしまいました。

それが復活したのは60歳過ぎて定年を迎え、暇な時間を取り戻してからでした。2001年11月に久しぶりのクラス会を開きました。

そこで再会した有志数人がちよくちよく飲み会を開くようになり、その中でも一度昔のクラスノートをやるうかと計画を始めました。ノートを回すのは時代にそぐわないので、まだラインやフェイスブックもない時代でしたので、掲示板を使って再開することにしました。卒業時50名いた仲間、故人が7名、連絡先不明が4名、メールアドレスを公開していない人5名を除きメールで連絡可能な人34名に掲示板のアクセス先を連絡し、いつでも見てもらえる状態にしました。以後それを使って、すべての会合を掲示しました。また昔やっていたハイキングも規模を変えて軟弱散歩として復活させ、それもすべて掲示板

で連絡しました。掲示板を見た人ならいつでも誰でもふらっと参加できる、昔やっていたような集まりができるようになりました。

これを始めてから18年になります。その間企画した集まりは、飲み会を筆頭に、軟弱散歩、ランチ会、旅行、美術館・ミニコンサート参観、メンバーの発表会(ピアノ・絵画・歌唱など)、クラス会など正確な記録はありませんが二百回を超えました。

参加者も正確ではありませんが、掲示板への書き込みをした人は31名、何かの集まりに参加した人は35名でした。感動的だったのは、足が不自由になったS君を近くに任んでいる別のS君が寄り添って渋谷の飲み会に連れてきてくれたことです。また、今振り返ればその後3年で死を迎えることになったH君がピアノ発表会で披露した「月光」ソナタも胸に迫るものがあります。このように楽しくやってきた会合に重大な障害が立ちふさがりました。足掛け三年になるコロナ感染で

す。これのせいで後期高齢者の我々は対面での集まりが出来なくなり楽しみは大幅に削減されました。掲示板の活動も低調になりました。運営の中心にいた松谷雅二君はその頃、昔の高校生活の残り物を整理し始めました。その過程で出てきたものを最後に披露します。私たちは3年生の記念祭で演劇をやめて教室での



展示をもって参加することになりました。記念祭と言えば講堂で演劇というのが常識だった時代、相当ユニークなクラスでした。展示のタイトルは「私たちの生活と意見」。当時はやりの伊藤整のパクリですが、自己を見直し、卒業を控え、各自の進路を見つめつついかに今を生きるかを問う画期的な作品でした。そこで自分たちだけでなく、教師の棚卸をしたものでした。それが60年以上たって、客寄せに使った懐かしい恩師の似顔絵とともに発掘されました。松谷君制作。左から、三浦亀吉、柴田孝夫、綱島竊、菅本正夫の諸先生です。

低調な日々は続いていきます。コロナが去った晩には、また昔のような交流を続けたいと待ち望んでいました。その間有志のみになってしまいました。リモートの会合で時々顔を合わせて細々と交流の火種を守っています。リモート参加可能な方は、掲示板にその旨ご連絡下さい。これをもって7期B組の活動報告いたします。

寄稿

# 米寿の寄せ書き

吉松安弘・2期

私たち二期生は、日本が世界大戦に敗れた翌年――一九四六年の春、旧制都立高等学校尋常科に一年生として入学した、男子のみの百二十名が母体だ。

占領軍の指示による学制大改革の中で旧制高校は潰され、私たちを最後に、都立高校尋常科の生徒募集は行われず、三年後には私たちの学んでいる学校の校名も都立大学附属高校と変わり、そこに、男女共学の実績作りとして女生徒二十数名が加わり、その百四十数名が新制都立大学附属高校二期生として、一九五二年春に卒業したのである。

そして今、八十八歳を迎えた同期生の確かな生存者は六十数名で、往時の半分にも満たない。しかも私にとっては、掛け替えのない親友、



旧都立高校本館

競い合った楽しい思い出を共有する懐かしい友の多くが、次々とこの世を去ってしまい、淋しく、空しく、苦しい・・・困った。

作秋は、同期の生き残っている者が集い、米寿の祝宴を開くべきだったのだが、コロナの騒ぎでそれも叶わず、それではと、寄せ書きを募ったところ、四十名に近い同期の爺婆から、喜びや反省、悔悟や自慢の数々が集まった。

往時の優等生、学生運動活動家、運動場のヒーロー、キャンパスの色男、本屋の万引き上手、上級生が覗きに来た噂の天才美少女・・・

筆者、それぞれの辿ってきた人生を語る者、自らの悲運をそして力不足を悔いる者、予期せぬ老いを嘆く者、訳の分からんことを訴える者、もはや喜怒哀楽の感情さえ超越したらしい者、

そして、九十歳を目前にした老人らしく、身の回りを整え、前途に迷い騒ぐことも無く、それなりの思惑、それなりの諦念を定めて、大自然への回帰を待つらしい多くの者・・・

不老長寿の果実を探しに出た人間も、居ないらしいのが残念だ。ヒントでも見つかれば、俺もお手伝いをして、あやかりたいのに・・・そう八十八が何だって云うんだ！ なにが目出たい！ まだ死にはしねえぞ！

二期卒業生世話人  
小林精次・吉松安弘

寄稿

## 12期C組のクラス会

小倉忠博・12期

1995年9月11日、オーストリア航空556便がウィーンに到着したとき、それは突然の出会いです。

乗客が一声に立って降りる準備に入った時です。前列の左端の乗客が客室乗務員にドイツ語で話しかけていました。その姿が彼では

ないかとどこでも気になっていました。ここで声を掛けなければ一生後悔する。

私たちは結婚25年記念の旅でこの便に乗っていました。声を掛けたらやっぱり保岡君でした。高校卒業後33年、その間に一度も会っていない私達



です。彼はウィーンから乗り継ぎ待ち、私達は予約したホテルに行くだけで時間に余裕がありました。

飛行場のカフェに入りビールで乾杯、近況や友人たちの情報交換で瞬く間に時間が経ち、クラス会の幹事は私が引き受けました。その3年前にクラスの幹事役だった西田君が、一度もクラス会を開催することなく、クラスで一番先に48歳で他界していました。

旅行から帰って、卒業生名簿から海外以外のほぼ全員と連絡をとりました。その中で残念なのはこの年の4月に御手洗君、5月には出原君と二人も相次いで亡くなっていた事です。



保岡君が野球部だったので、部の仲間、久保・篤・藤本の3人と女性の菊地(旧姓)さんと5人でクラス会開催の準備を進めました。

その年の12月3日に初のクラス会を「ひのや」で開催。男子18名女子8名が参加。担任の鈴木寛男先生も奥様を同伴して奈良から参加していただき、クラス会が盛り上がりました。

その後も何度かクラス会も同期会も開催しています。クラス会には何時も女性の参加者が多いことが特徴です。最近が高齢とコロナ禍という不安な要素が生じており、継続することには不安があります。

寄稿

高校時代の思い出

片岡俊郎・6期

今や84歳の老骨ですが、高校生の時の思い出は鮮明です。社会の喜多先生、生物の斉先生、英語の綱島先生など名物先生の思い出が沢山あります。喜多先生からは歴史を学びました。斉先生には生物の面白さを、綱島先生には優しい英語を教えてもらいました。それらはみんな大学受験でも役に立ちました。私が今でも世界史に興味を持っているのは喜多先生のおかげだと思っています。『ぼんじ』先生という漢文の名物先生もいました。漢詩が今でも好きなのは先生の手ほどきがあったからです。

綱島先生には、私の結婚式の主賓をお願いしました。優しい先生でした。

先生方は授業のはじめに点呼を取るのですが、生徒の間では代返が流行っていました。先生方も代返とわかっていながら、黙って見逃してくれていました。大

人の関係だったのかもしれない。私も友達によく代返してもらい授業を抜け出しました。ただ抜け出して何をしていたのかはあまり覚えていません。単にスリルを楽しんでいただけだったのでしょうか。

部活も楽しい思い出のひとつです。私はサッカー部に所属していました。夏休み期間中、熱海にあった学校の寮に合宿して練習に明け暮れていました。その成果を発揮すべく、秋の国体の前哨戦に臨み、強豪チームの青山学院高校と対戦しました。しかし、結果はワールドゲームの惨敗でした。情けないやらなにやら、今でもその時のみじめさをはっきり覚えています。

実は、その試合会場に同期のマドンナが応援に来ていました。みんな大いに喜び、張り切って戦いました。しかしあとで本人に聞いたのですが、彼女はボーイフ

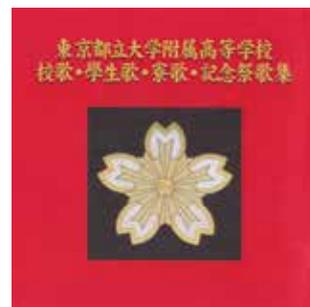
レンドがいる青山学院を応援に来ていたのです。青春はいつの時代も甘酸っぱいものですね。年を取ってから、同窓会でその恨みを述べたところ、彼女は彼のお嫁さんになっていることがわかりました。ハッピーエンドでした。

文集「懐かしの一土会」頒布のお知らせ

旧制府立II都立高校の校風を愛し、長い年月に亘りその寮歌を歌い継いできた一土会は、三年前、老齢の会員が次々と亡くなる中で解散を余儀なくされました。しかしその少々前から、同人たちの想いを語る冊子作成の企画が動き始め、投稿を募っておりました。

解散と共に文集の企画も頓挫したのですが、このほど、集まっている原稿だけでも出版してほしいとの

校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌集 旧制時代の名曲も収録したDVD



八雲が丘で歌い継がれてきた名曲・名曲の一部を収録したDVD。残部僅少ですが販売いたします。

<収録内容>

全編33分。歌詞・字幕つき  
**斉唱**：校歌(嗚呼西山の)、学生歌(嗚呼烈誠の)、学生歌(青春といふ)、文乙歌(いざ友)、第五寮歌(紫の霞)、第八寮歌(春残更に)、新制第1回記念祭歌(手をつなげ)、第2回(古きいらか)、第7回(吹きすさぶ)、第17回(晩夏に集う)、乾杯の歌  
**吹奏楽**：校歌、学生歌(青春といふ)、文乙歌

頒布価格(送料とも) 1,500円

ご注文は、同窓会事務局まで郵送、または同窓会ホームページContact欄から。DVD到着後銀行振り込みにてご入金ください。

声が上がりに、府川・吉松を新たな編集人に一土会冊子を発行、関係諸氏に披露することとなりました。  
冊子は同人手記に加えて、一土会誕生と解散の様相、全旧制高校寮歌からの人気曲や旧制都立高校寮歌スタンダードナンバー選出、などの趣向をも添え、また、表紙には、釣鐘マントに白線帽・高下駄の旧制高校生、裏表紙には在りし日の都立高校本館北面というお馴染

みのイラストと校章を配し、美しく完成したので、その成果を、皆さんと共に楽しみたいと存じます。  
どうか、在りし日の古き、佳き、おしゃべりを味わい、かつての教養主義、バーバリズム、懐かしいエリート意識を想い、懐かしみ、楽しんでくださいませよ。

1冊につき送料ともカンパ2,000円です。氏名・送り先・冊数を明記して下さいまで

- お申し込み先  
182-0003 調布市若葉町 1-22-26  
吉松安弘 (03-3300-1187)
- 送金先  
三菱UFJ銀行 烏山支店・普通預金  
口座番号 0071635 ヨシマツヤヒロ



# 八雲立つ丘にて

山内通生・18期

「同窓会のかたがたってなにかとても知的で品がいいのだなァー！」

「昨年の会報を飾った集合写真に、さる佳人から寄せられた思い。自分もその隅に収まっているので面映ゆいが、何度も読み返している。吉松安弘さん(2期)の著書『旧制高等学校生の青春彷徨』(彩流社刊)の中で、昭和17年に府立高に外部入学した学生が冒頭の思いと異口同音の体験を記していた。歲月を経ての佳人の感性に改めて感じ入った。都高に入学すると、「自治と自由」が伝統だと教わるが、詳細を聞いたことはなかった。吉松さんの著書で、遅れ馳せながら学んだ。昭和4年の府立高校誕生から、敗戦後、GHQの政策で廃校になり、新制都高に至る高史が語られている。

八雲が丘の俊英たちと、心ある校長や教師たちは、軍事体制が強まるなかでも

「自治と自由」を守ろうと抗った。口先だけではない言動の立派さ。校長や教師と学生たちとの信頼関係は羨むばかりだ。

もう一冊、福原和子さん(5期)の『目ざめゆく心』(ペンネーム安曇野和子、文芸社刊)では、戦後、女子学生を受け入れてから間もない、新制都高の日々が描かれている。13期後輩の私たちに置き換えても不思議ではないほど共感するところが多く、これが「同窓」なのだと思った。私の在学中、学校群制度実施を控えた時期に、「都高に守るべき伝統などあるのか、そんなものはぶち壊せ」という者がいた。あのとき、「伝統」を語ることができなかった。私に、この二冊が欲しかった。

豊稔の7年間こそなかったが、伝統の春のクラスマツチや、秋の記念祭が終われば、広大なグラウンドが

に可能であったファイヤーだ。積み上げられた木材は小山のようで、炎に火照った肌放水が心地よく、寒い年の放水には震えながら、寮歌や学生歌を歌い、「反戦平和」を叫び、ロシア民謡のように「インターナショナル」を歌った。『泥田』をかき回したような靴やトランプには、どの家も大迷惑を被ったことだろう。洗濯機に入れられず、手で洗っていた母には、今でも申し訳なく思っている。

受験を意識しない二期制の授業は、誰言うともなく大学並みだ。実際、野村精一先生(国文学・1年時担任)や、黒羽清隆先生(日本史・2・3年)をはじめ、多くの先生方が大学教授になられていた。

私はノンビリしたまま、昭和43年に卒業し、「都高分室」の感があつた市ヶ谷の予備校経由で大学へ。大学2〜3年の頃、「旧制高校寮

歌祭」を見る機会があった。北杜夫の世界を彷彿とさせる破帽弊衣、校旗を手にした全国のOBたち、中には酒瓶を抱えながら高歌放吟。都高も登場したが、私には「現役の曲」だったので妙な気がした。

大学では立看板が屏風のよう林立し、アジ演説の騒音と学内デモ、投石や内ゲバが繰り返されていた。大学時代の思い出にと参加した名物行事「百キロハイク」で、脱落寸前の未明に、私を支えてくれた主催団体の学生は、後に逆バリケード中の学内でリンチ殺害された。報道で、母の手一つで育てられたことを知り、涙が止まらなかった。この時期、都高も相当に荒れたと聞くが想像がつかない。

時は過ぎ、都立大学が八王子に移転、八雲が丘の景色は一変した。府立高校に続き、まさか都高も廃校になるとは。旧制以来の校章・校旗・校歌は、新設の高一貫制の桜修館中等教育学校に受け継がれる。桜修館の彼・彼女は幼く見えるが、鳥屋尾史郎前学校長か

ら、教えたわけではないのに、自治の精神があるとお聞きした。

都高時代の遅刻しそうな朝、必死で改札を抜け、長い坂道を駆け登って、漸く通用門に辿りついて、都立大のキャンパスが待ち受け、絶望的なグラウンドの先に、我が校舎は他校のようには行んでいた。「鬼」の坂も、友と語り下校時には微笑む。

「いま紅顔の子」も卒業して半世紀余り。その坂を辿ってみれば、昔ながらの店屋はなく、小綺麗な街並みに変わっていた。「大学通用門前」の、神林正治君(18期)自慢の「旭ペーカー」も、昼休みに二階に駆け込んだ「更科蕎麦」もない。それでも、青春の坂道を往けば、心はなおときめく。変わらぬ東横線の高架駅と駅名が、いまは愛おしい。

## 事務局インフォメーション

### 2020年度下期～2021年度の会議など

- 2021年
- 2月28日 ▶ 下期「理事・監事・評議員会議」Zoom会議
- 5月12日 ▶ 2020年度会計監査
- 5月15日 ▶ 八雲が丘学友会
- 7月31日 ▶ 上期「理事・監事・評議員会議」Zoom会議
- 9月4日 ▶ 八雲が丘学友会
- 12月11日 ▶ 八雲が丘学友会
- 2022年
- 2月26日 ▶ 八雲が丘学友会
- 3月6日 ▶ 下期「理事・監事・評議員会議」Zoom会議  
(1月30日に予定された会議と、3月14日に予定された会報編集委員会を併せて開催)
- 5月12日 ▶ 2021年度会計監査
- 5月14日 ▶ 八雲が丘学友会

## 事務局インフォメーション

**【表I】2021年度貸借対照表(財産目録)**

2022年3月31日現在

科目・摘要	金額(単位:円)
<b>1. 資産の部</b>	
現金及び預金	-
現金	-
みずほ銀行普通預金	856,436
みずほ銀行定期預金	5,006,672
ゆうちょ銀行当座預金	2,543,011
ジャパンネット銀行普通預金	3,079,933
現金及び預金計	11,486,052
前払金	118,800
資産計	11,604,852
<b>2. 負債の部</b>	
未払金(理事長立替未払金)	9,486
負債計	9,486
<b>3. 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	11,489,735
当期正味財産増減額	246,632
正味財産計	11,736,367
負債・正味財産計	11,745,853

**【表II】2021年度正味財産増減計算書**

2021年4月1日～2022年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)
<b>I. 経常収益</b>	
1. 受取会費	2,552,000
2. 寄附金	11,700
2. DVD等販売収入	-
2. 利息収益	112
経常収益計	2,563,812
<b>II. 経常費用</b>	
1. 会報費	
会報原稿作成費	118,800
会報印刷製本料	822,690
会報通信運搬費	996,953
会報費計	1,938,443
2. ホームカミングデー費	
懇親会費収入	-
懇親会費支出	-
案内送付先作成送付費用	-
会場等賃借料	-
HCD雑費	-
ホームカミングデー費計	-
3. 記念祭費	
通信運搬費	-
表彰金	200,000
記念祭雑費	-
記念祭費計	200,000
4. 経常管理費	
旅費交通費	-
通信運搬費	37,352
支払手数料	254,609
会議費交際費	-
消耗品費	5,576
雑費	-
経常管理費計	297,537
経常費用計	2,435,980
当期正味財産増減額(経常損益)	127,832

監査報告:

財務諸表、帳簿、証憑等を精査し、上記決算書に誤りがないことを確認します。

2022年5月12日

監事

栗原利憲

### 2021年度事業報告

2021年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響をまともに受けた1年でした。桜修館もわれわれ同窓会も前年同様感染予防の対応に追われました。

同窓会活動の方向を定める「理事・監事・評議員会議」は上期、下期ともZoomによるオンライン会議とならざるを得ませんでした。会報編集委員会など対面での会合は中止し、少人数の「八雲が丘学友会」は、アクリル板の仕切りを立てた校長会議室で開催しました。その他実施できたのは会計監査のみです。

3年に1度の同窓会総会は昨年秋の開催予定でしたが、今年度に延期しました。また「八雲が丘ホームカミングデー」は前年と同じく延期となりました。記念祭は一昨年の第72回が全面的に中止となりましたが、昨年の第73回は辛うじて開催されました。生徒のみの参加となったため、同窓会ルーム「八雲が丘の集い」は出展できませんでした。

一昨年から延期となっていた第8回「八雲が丘賞」は、第9回と一緒に同時表彰となりました。全校生徒の前での表彰式は出来ませんでした。校内放送で表彰状を読み上げました。また、再開した八雲が丘文庫は、受け入れ側の学校の体制が整いませんが、寄贈本は集まり始めています。

例年通りの活動が継続できたのは、会報の発行、ホームページの更新、名簿の管理など、直接コロナの影響を受けない限られたものでした。会報は昨年6月30日にA4版12ページ、9,000部印刷。国内会員8,028部、特別会員(恩師)152部、海外会員85部を送付したほか、桜修館教職員、PTA、在校生に計200部を配布しました。名簿の管理状況ですが、ホームカミングデーが開催されなかったため対象の期の名簿更新が進まなかったこともあり、住所不明者がやや増加しています。より詳しくはホームページの「理事・監事・評議員会議」議事録をご覧ください。

### 2021年度決算報告

2021年度の決算は、経常損益に前払い金を併せ25万円弱の黒字となりました。会費収入は前期比横ばい、支出は「八雲が丘賞」の記念品代20万円が前期比増となっています。ホームカミングデー経費、記念祭経費がかからなかったことが黒字の要因ですが、今期はこの二つの事業を行ったうえでの黒字を目指します。

年会費の納入会員は1,276人でした。目標の1,500人を達成できれば、新たな事業が展開できます。

#### ◆ 2021年度役員

理事長・会報編集担当	宍戸 迫武(13期)
常務理事・事業担当	佐々木浩二(15期)
常務理事・音楽催事担当	佐藤 文行(17期)
常務理事・ホームページ担当	嶋津 和行(26期)
常務理事・名簿管理担当	石川 恵子(35期)
常務理事・会計担当	田中 聡美(43期)
監事	栗原 利憲(11期)

## 事務局インフォメーション

## 年会費 2,000円 納入のお願い

今回納入をお願いするのは2022年度の会費2,000円です。

③3年会費 5,000円と終身会費は廃止されています。  
3年以上前の払込取扱票は使用しないでください。

●次の方は、納入していただく必要はございません。

- ①特別会員の先生方
  - ②かつて終身会費 30,000円を納入された方
- ①②の方には会費払込取扱票が同封されていません。  
万一同封されていたら何らかの間違いですので、事務局までご連絡いただければ幸いです。

## &lt;会費納入の方法&gt;

## ● ゆうちょ銀行、コンビニ

同封の払込取扱票をお使いください。

## ● 銀行振り込み

Pay Pay 銀行 (旧ジャパネット銀行)

すずめ支店 (支店番号002)

普通預金 6271398

(口座名義) トウキョウトリツダイガクフゾク

コウトウガッコウドウソウカイ

ATMから振り込む場合およびネットバンキングご利用の場合は、振り込み人の名前を修正して、名前の前に「卒業期・クラス」を入れてください。(例=13Aトリツタロウ)

## 同窓会への連絡方法

住所の変更、訃報、その他の同窓会への連絡は下記のいずれかの方法でお願いします。

## ● インターネット

同窓会のホームページを開き右下の「Contact us」ボタンをクリックするとメールフォームが出ます。

## ● 郵送

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2  
都立桜修館中等教育学校内  
都立大学附属高等学校同窓会

または

〒152-0002 東京都目黒区目黒本町4-2-3-6  
都立大学附属高等学校同窓会事務局  
六戸方

同窓会報編集委員会  
13期 戸田 康武  
14期 川田 秀文  
21期 根岸 之夫  
26期 嶋津 和行  
35期 石川 恵子  
43期 田中 聡美

コロナが治まりません。多人数の会合が出来ないため、同窓会活動も大きく影響を受けています。同期会などの報告も今年も会報に「八雲が丘賞」以外の活動報告は載せられませんでした。一方で、恩師、会員からは多数の文章が寄せられ、充実した16ページとなりました。今年の第74回記念祭は9月10日、11日の両日です。例年通り同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展できるかどうか、秋に予定されているホームカミングデーと定期総会ともども、詳しい情報は同窓会ホームページで確認ください。来年も、会報の原稿締切りは4月末です。多くの原稿をお待ちしています。



## 編集後記

## 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

国語	清沢 治先生		1997年
期・組		旧姓	
1A	野明 宏至		2021年1月
1B	窪井 重郎		2018年5月5日
1B	立石 昭夫		2020年2月6日
2B	渡 正明		2020年11月23日
2C	伊能 忠正		2018年11月
2C/4C	高橋 望		2021年5月8日
3C	高澤 市郎		2020年7月20日
4B	栗原 亮		2019年4月15日
4C	是永 龍二		2019年
5B	鈴木 康之		2021年6月19日
5C	清水 達雄		2021年1月3日
5C	原 宜二		2021年1月6日
6A	伊藤 治代	牧野	(不明)
7B	川島 正		2022年2月18日
7C	杉本真理子	須田	2021年7月11日
8A	長倉 伸子		2021年3月16日
8B	野島行一郎		2021年10月
8B	安田 博亮		2020年4月
8C	仙波 晃		2021年10月
9A	江口 明則		2021年6月28日
9A	田所 啓弘		2021年9月23日
9C	伊川 浩爾		2021年9月12日
11A	海部 重美	三宅	2021年2月21日
14B	佐藤 信次		2021年6月2日
15A	堀口 精一		2020年
15C	萩生 良紀		2020年7月13日
15D	加藤百合子	竹植	2021年5月6日
16E	有田 篤雄		2019年
20D	茂木 行雄		2021年5月10日
23E	高田 義則		2021年1月21日
24B	山田 芳朋		2019年10月8日
24F	片山 一峯		(不明)

同窓会事務局に連絡のあった方のみ掲載しています

## 「八雲が丘文庫」への著書の寄贈について

現役の中学生、高校生にぜひ読ませたい書籍をご寄贈ください。

- 寄贈を受ける著作は、書籍のみです。
- 卒業生ご本人、または恩師ご自身の著作を2冊までとさせていただきます。

寄贈本は下記までお送りください

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2  
桜修館中等教育学校内「八雲が丘文庫」担当

## お詫びと訂正

昨年の会報に下記の間違い、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 7ページ 「同好会から部へ～演劇部の思い出」の本文中、4段6行目の「カリスマ性の～」から10行目「～同期たち」までを削除。制作上のミスで1段目と文章がダブリました。
- 10ページ タイトルと4段目、5段目、7段目の書名と引用に誤りがありました。

誤 『その火を燃やしつづけて  
斎正子一遺稿と追憶』  
正 『その光を燃やしつづけて  
斎正子一遺稿と追憶』